

**(仮称) 利府町震災復興計画の策定に関わる
アンケート調査結果
【③転入者アンケート】**

目 次

1. 転入者アンケート調査の概要	1
2. 調査結果の総括	2
3. 調査結果	3
<u>あなた自身のことについて</u>	
【設問 1 - 1】性別について	3
【設問 1 - 2】年齢について	3
【設問 1 - 3】現在の家族の人数について	4
【設問 1 - 4】被災前の住居について	4
【設問 1 - 5】現在の住居について	5
【設問 1 - 6】被災前の職業について	6
【設問 1 - 7】現在の就業状況について	6
<u>今後の居住意向について</u>	
【設問 2 - 1】被災前の居住の市町村について	7
【設問 2 - 2】将来の居住場所に関する意向について	9
<u>今後のまちづくりについて</u>	
【設問 3】今後のまちづくりについて	15
<u>今後のまちづくりについての意見やアイデア（抜粋）</u>	18

1 転入者アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

震災後における本町への転入者を対象に、今後の居住に関する意向などを把握し、(仮称)利府町震災復興計画の策定の基礎資料とすることを目的とする。

【設問の設定に際しての着眼点】

設問の内容	着眼点
今後の居住意向について	転入者の今後の居住場所に関する意向を把握し、居住環境の整備に関する施策、事業を検討する基礎資料とする。
今後のまちづくりについて	復興のまちづくりを進めるにあたって、転入者が必要と考える今後のまちづくりについての取組みを把握し、施策、事業を検討する基礎資料とする。

(2) 実施期間

発送：平成23年7月12日

回収：平成23年7月21日～24日(支援物資の受領時に回収箱へ投函)

(3) 調査対象者

被災地域から利府町へ転入届を提出した全世帯(3月11日以降～6月30日まで)

(4) 回収票数

発送票数	回収票数	回収率
248	104	42%

■ 家族構成と住居の状況

- ・ 転入者の家族構成は2～4人世帯が7割以上を占めており、**家族単位での転居**傾向である。
- ・ 平成23年7月現在の居住形態は、民間の借家が5割以上で、次いで持家となっているが、被災前と比較すると、**民間の借家は同等の割合で、持家率は下がり、一方で同居・間借りが増加**している。

■ 被災前後の就業状況

- ・ 被災前の職業は「会社員・公務員」が最も多く、次いで「パートタイマー・アルバイト」となっている。
- ・ 被災前の就業者における現在の就業状況は、**8割以上が就業しており、約2割が離職**している。

■ 転入者の被災前の居住地

- ・ 転入者の被災前の居住地は、「仙台市」と「石巻市」が最も多く、その他**隣接市町を含む地域（仙台市から石巻市の間）からの転入者が全体の8割以上**となっている。

■ 利府町への居留意向

- ・ 今後の居留意向は、未定の方も見られるが**町内での継続居留意向が全体で約6割**を占めており、全年代で5割以上の割合となっている。
- ・ 被災前の居住地別に見ると、町内での居留意向の件数が多い市町村は、「石巻市」が最も多く、次いで「仙台市」「東松島市」で、隣接市町では「塩竈市」「松島市」が全員となっている。

■ 今後のまちづくりについて

- ・ 本町の今後のまちづくりを進めていく上での必要な取組みとして、**「災害に強いまちづくり」や「防災広報など防災の備え」**が多く望まれており、次いで「子どもの教育環境の充実」「高齢者の支援」「雇用の確保」が望まれている。
- ・ 本町への居留意向者においても全体と同様に、「災害に強いまちづくり」「防災広報など防災への備え」「雇用の確保」「子どもの教育」「環境の充実」が多く望まれている。

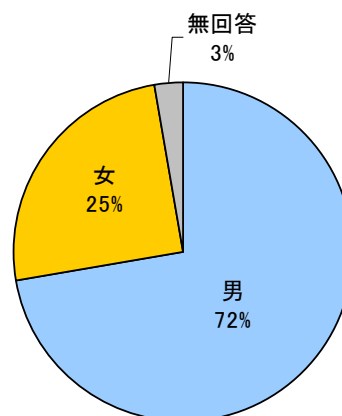
あなた自身のことについて

【設問1-1】性別について

・回答者の性別は、「男性」が72%、「女性」が25%となっている。

《全体集計》

選択項目	人数
1. 男	75
2. 女	26
無回答	3
計	104

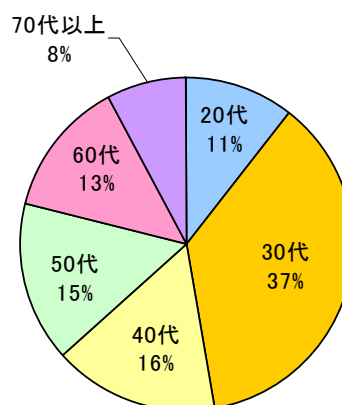


【設問1-2】年齢について

・年齢構成は、「30代」が37%と最も多く、次いで「40代」が16%、「50代」が15%となっている。

《全体集計》

選択項目	人数
1. 10代	0
2. 20代	11
3. 30代	38
4. 40代	17
5. 50代	16
6. 60代	14
7. 70代以上	8
計	104

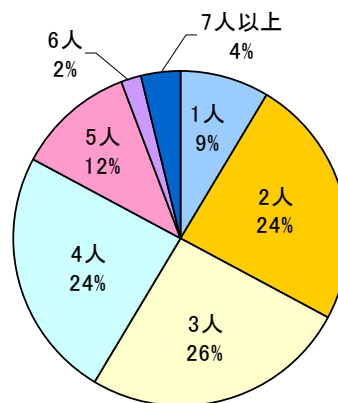


【設問 1－3】現在の家族の人数について

- ・現在の家族の人数は、「3人」が26%と最も多く、次いで「2人」と「4人」が24%となっている。

《全体集計》

選択項目	人数
1. 1人	9
2. 2人	25
3. 3人	27
4. 4人	25
5. 5人	12
6. 6人	2
7. 7人以上	4
計	104

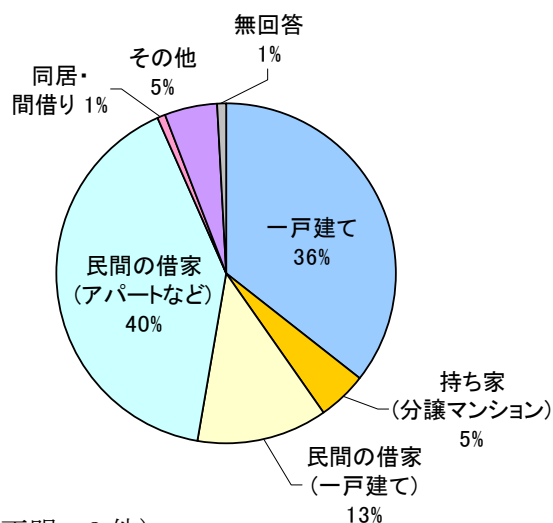


【設問 1－4】被災前の住居について

- ・被災前の住居形態は、「民間の借家（アパートなど）」が40%と最も多く、次いで「一戸建て」が36%となっている。
- ・「一戸建て」と「分譲マンション」を合わせた持家は41%で、借家は「民間の借家（一戸建て）」と「民間の借家（アパートなど）」を合わせた53%となっている。

《全体集計》

選択項目	人数
1. 一戸建て	37
2. 持ち家(分譲マンション)	5
3. 民間の借家(一戸建て)	13
4. 民間の借家(アパートなど)	42
5. 同居・間借り	1
6. その他	5
無回答	1
計	104



▽「6.その他」の回答内容（回答：3件、不明：2件）

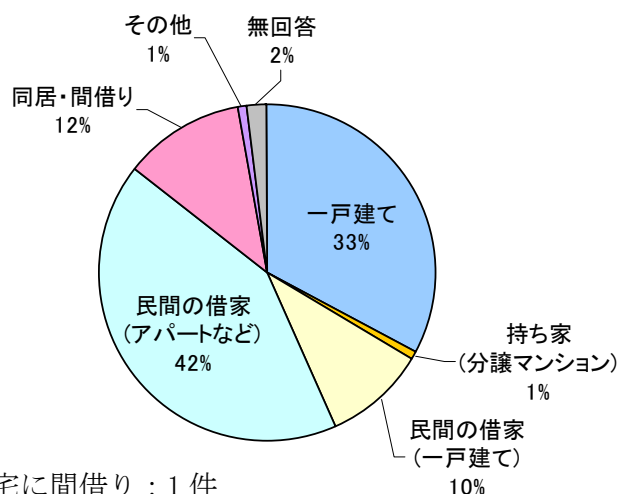
- ・集合住宅：1件
- ・公営住宅：1件
- ・賃貸マンション：1件

【設問 1 - 5】現在の住居について

- ・現在の住居形態は、「民間の借家（アパートなど）」が42%と最も多く、次いで「一戸建て」が33%となっており、「一戸建て」と「持ち家（分譲マンション）」を合わせた持家は34%で、「民間の借家（一戸建て）」と「民間の借家（アパートなど）」を合わせた借家は52%となっている。
- ・年齢別にみると、持家率は70代以上が63%と割合が多いが、その他の年代においては借家や同居・間借りの割合が多く、30代では79%と最も多くなっている。

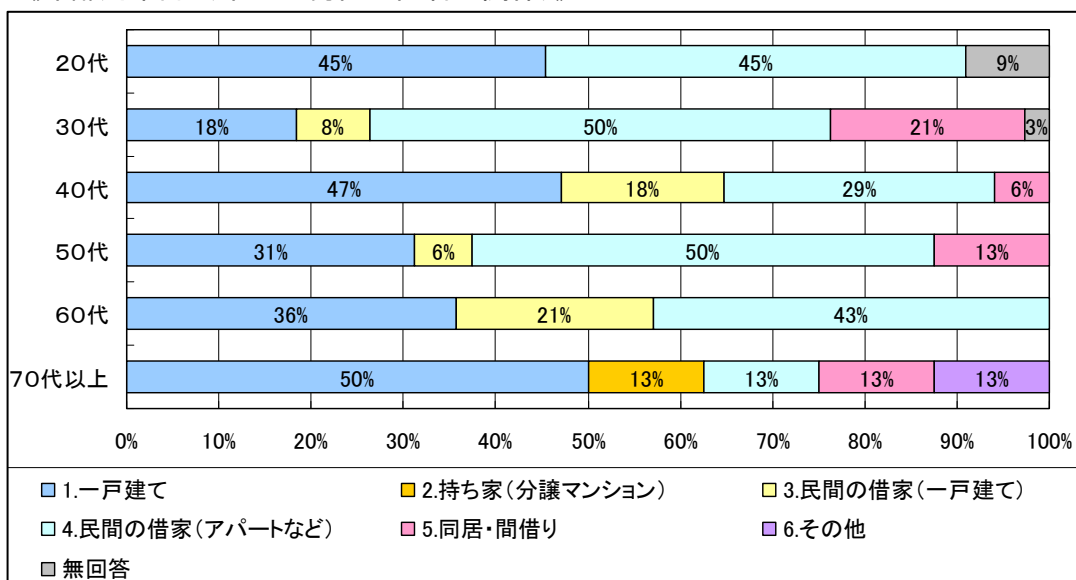
《全体集計》

選択項目	人数
1. 一戸建て	34
2. 持ち家(分譲マンション)	1
3. 民間の借家(一戸建て)	10
4. 民間の借家(アパートなど)	44
5. 同居・間借り	12
6. その他	1
無回答	2
計	104



▽「6. その他」の回答内容 ・ 公営住宅に間借り：1件

《年齢別集計（年代と現在の住居の関係）》



(人数)

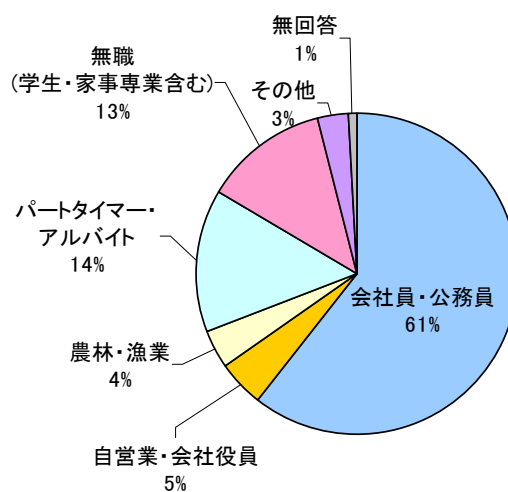
	1. 一戸建て	2. 持ち家(分譲マンション)	3. 民間の借家(一戸建て)	4. 民間の借家(アパートなど)	5. 同居・間借り	6. その他	無回答	計
20代	5	0	0	5	0	0	1	11
30代	7	0	3	19	8	0	1	38
40代	8	0	3	5	1	0	0	17
50代	5	0	1	8	2	0	0	16
60代	5	0	3	6	0	0	0	14
70代以上	4	1	0	1	1	1	0	8
計	34	1	10	44	12	1	2	104

【設問 1－6】被災前の職業について

・被災前の職業は、「会社員・公務員」が61%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が14%、「無職」が13%となっている。

《全体集計》

選択項目	人数
1. 会社員・公務員	63
2. 自営業・会社役員	5
3. 農林・漁業	4
4. パートタイマー・アルバイト	15
5. 無職(学生・家事専業含む)	13
6. その他	3
無回答	1
計	104



▽ 「6. その他」の回答内容

・船員：1件 ・不明：2件

【設問 1－7】現在の就業状況について

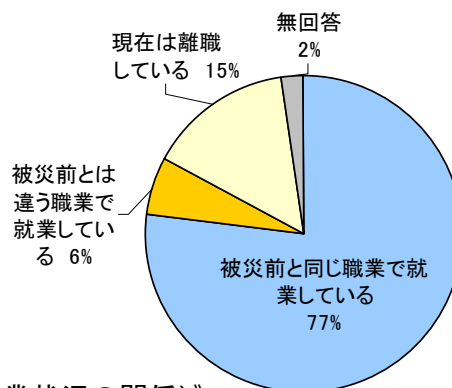
* 設問 1-6 で、「1. 会社員・公務員～4. パートタイマー・アルバイト」と回答された方を対象

・現在の就業状況は、「被災前と同じ職業で就業している」が77%を占めており、「被災前とは違う職業で就業している」を含めた就業割合は83%で、「現在は離職している」は15%となっている。

・同じ職業による就業割合は、「会社員・公務員」が84%と最も割合が多くなっている。

《全体集計》

選択項目	人数
1. 被災前と同じ職業で就業している	67
2. 被災前とは違う職業で就業している	5
3. 現在は離職している	13
無回答	2
計	87



《被災前の職業別集計 (被災前の職業と現在の就業状況の関係)》

被災前の職業	現在の就業状況 (人数)				計
	1. 被災前と同じ職業で就業している	2. 被災前とは違う職業で就業している	3. 現在は離職している	無回答	
会社員・公務員	53	3	5	2	63
自営業・会社役員	3	0	2	0	5
農林・漁業	2	1	1	0	4
パートタイマー・アルバイト	9	1	5	0	15
計	67	5	13	2	87

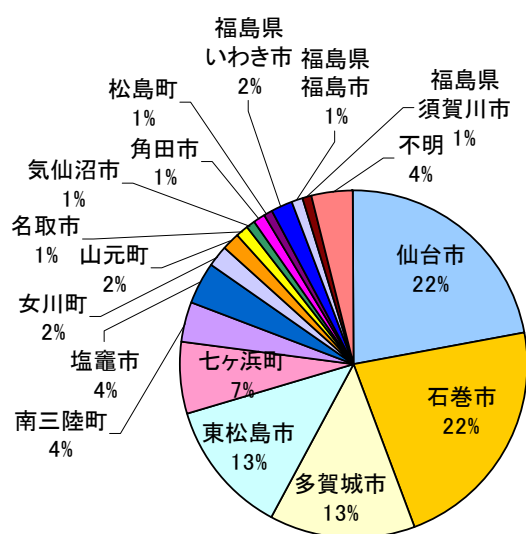
今後の居住意向について

【設問 2-1】被災前の居住の市町村について

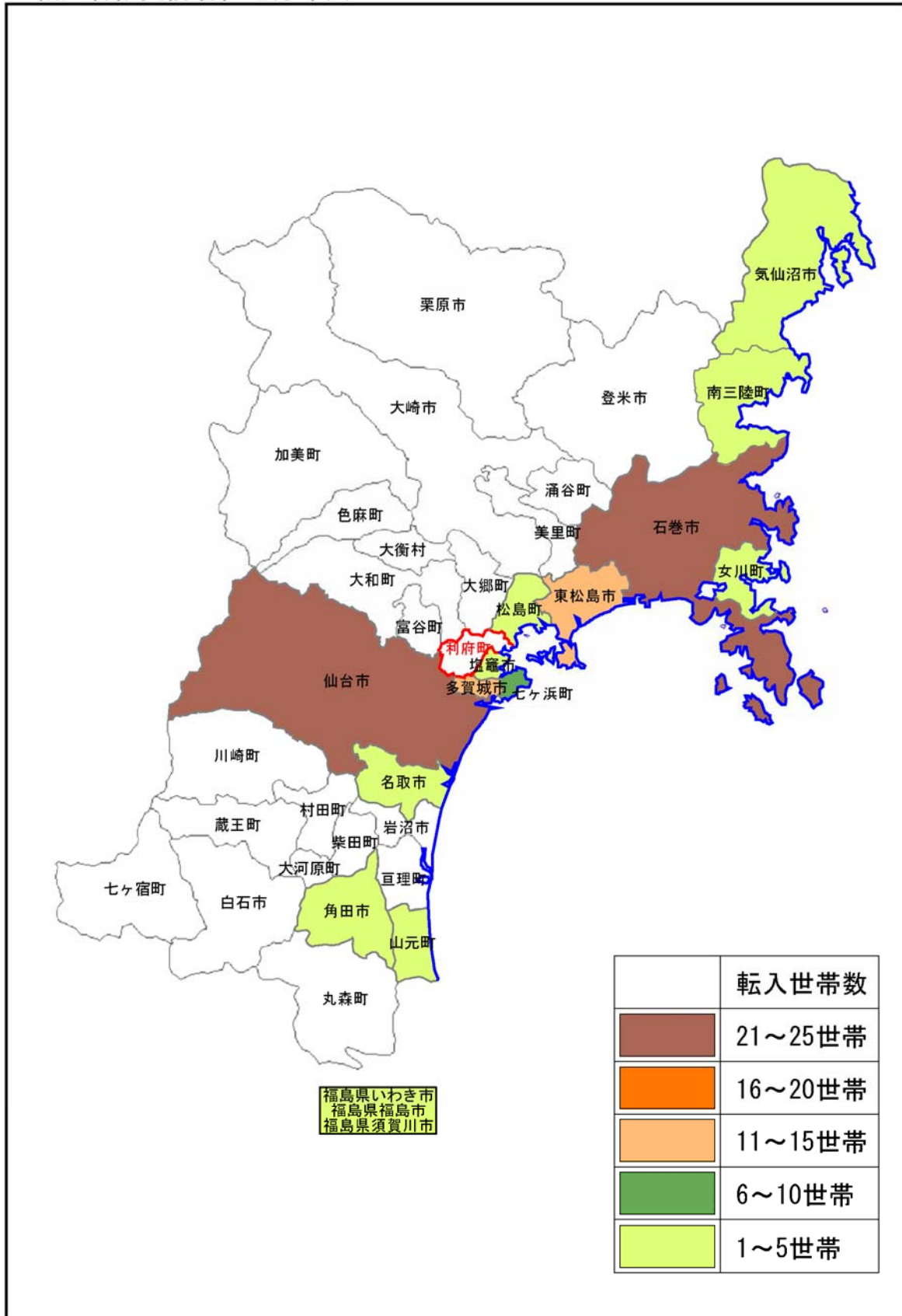
- 被災前の居住市町村は、「仙台市」と「石巻市」が 22%と多く、その他隣接市町から 38%（多賀城市、東松島市、七ヶ浜町、塩竈市、松島町）、隣接以外の宮城県内の市町からは 11%となっている。県外の福島県からは 4%となっている。

《全体集計》

市町名	人数	構成比
仙台市	23	22%
石巻市	23	22%
多賀城市	14	13%
東松島市	13	13%
七ヶ浜町	7	7%
南三陸町	4	4%
塩竈市	4	4%
女川町	2	2%
山元町	2	2%
名取市	1	1%
気仙沼市	1	1%
角田市	1	1%
松島町	1	1%
福島県いわき市	2	2%
福島県福島市	1	1%
福島県須賀川市	1	1%
不明	4	4%
計	104	100%



転入者被災前居住地分布図

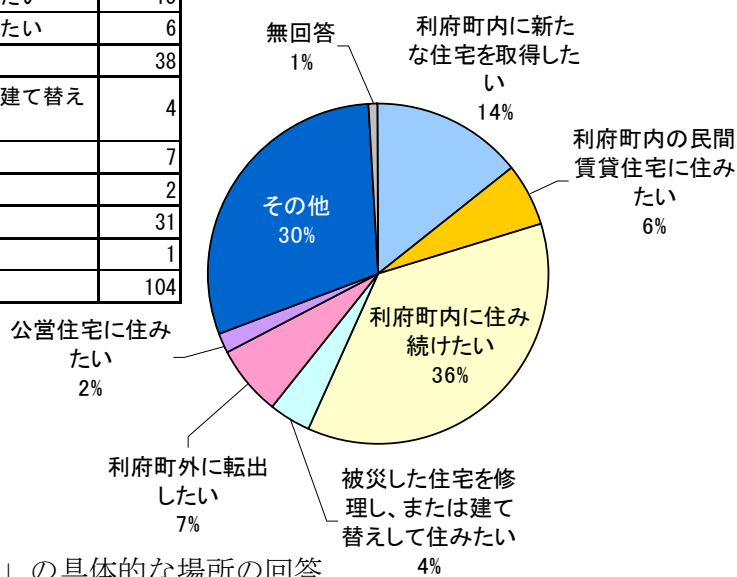


【設問 2 - 2】 将来の居住場所に関する意向について

- ・「利府町に住みたい（選択項目 1. 2. 5）」は 56%、「利府町外に転出したい（選択項目 3. 6）」は 11%となっている。
- ・「その他」の回答は 30%で、「未定」という意見が多くなっている。
- ・年代別では「利府町に住みたい」が全年代で 50%以上の割合となっており、「60 代」が 65%と最も多くなっている。
- ・家族人数別では「1 人」以外において「利府町に住みたい」が 50%以上の割合となっている。
- ・現在の住居形態別では「利府町に住みたい」が「一戸建て」「持家（分譲マンション）」「民間の借家（一戸建て）」「同居・間借り」において 70%以上と割合が多くなっている。
- ・職業別では「利府町に住みたい」が「パート・アルバイト」で 34%と割合が少ないが、その他においては 50%以上の割合となっている。
- ・居住地別では「利府町に住みたい」とする件数の多い市町村は「石巻市」が 14 件で最も多く、次いで「仙台市」が 10 件、「東松島市」が 8 件となっている。

《全体集計》

選択項目		人数
利府町に住みたい	1. 利府町内に新たな住宅を取得したい	15
	2. 利府町内の民間賃貸住宅に住みたい	6
	5. 利府町内に住み続けたい	38
利府町外に転出したい	3. 被災した住宅を修理し、または建て替えて住みたい	4
	6. 利府町外に転出したい	7
	4. 公営住宅に住みたい	2
	7. その他	31
	無回答	1
	計	104



▽ 「5. 利府町内に住み続けたい」の具体的な場所の回答

(回答：7 件、不明：31 件)

- ・葉山以外：1 件 ・青葉台：1 件 ・しらかし台：1 件 ・加瀬：1 件
- ・利府駅近辺：1 件 ・沢己：1 件 ・現住所：1 件

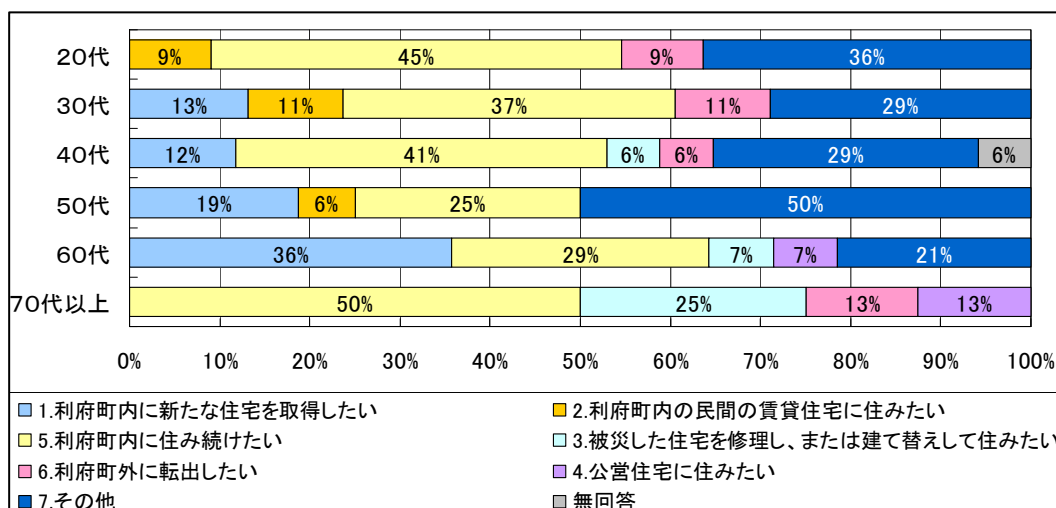
▽ 「6. 利府町外に転出したい」の具体的な市町村名の回答 (回答：7 件)

- ・仙台市：5 件 ・石巻市：2 件

▽「7.その他」の回答内容（回答：25件、不明：6件）

- ・修理して住んでいる：1件
- ・利府町内に新たな住宅を取得した：1件
- ・東松島市で以前と違う所に（安全な所）住みたい（希望：持家戸建）：1件
- ・交通の便がもう少しよければ利府町内に住みたい。町内⇄岩切駅のバスがあったら便利：1件
- ・被災後に利府で一戸建てを購入したので住み続ける：1件
- ・被災前に住んでいた所（市）の安全な場所（地盤が固く、津波のこない高台があれば戻りたい）：1件
- ・未定の意見：19件（二年間の中で決めたい、仕事の都合でわからない、まだ分からない、考え中）

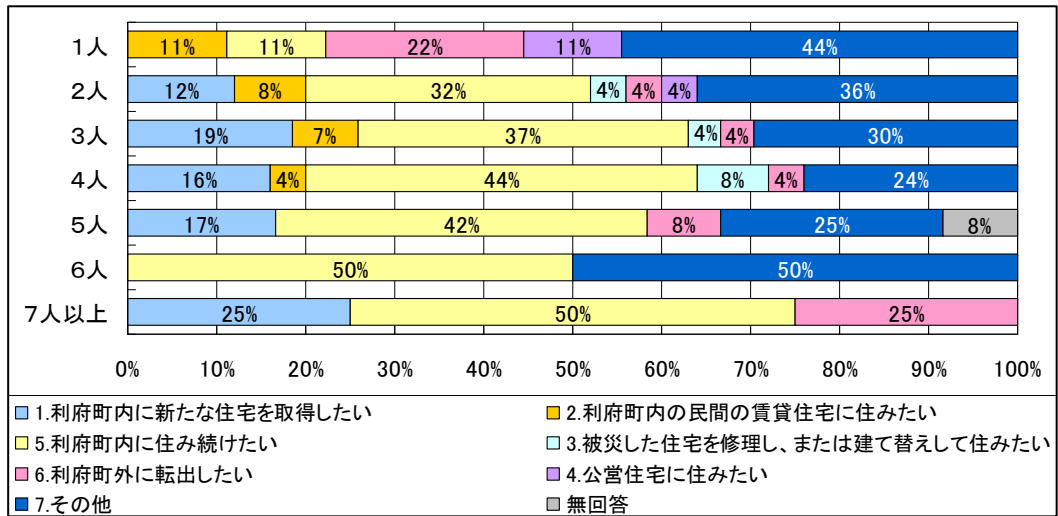
《年代別集計（年代と今後の居住意向の関係）》



(人数)

	利府町に住みたい			利府町外へ転出したい		4.公営住宅に住みたい	7.その他	無回答	計
	1.利府町内に新たな住宅を取得したい	2.利府町内の民間の賃貸住宅に住みたい	5.利府町内に住み続けたい	3.被災した住宅を修理し、または建て替えて住みたい	6.利府町外に転出したい				
20代	0	1	5	0	1	0	4	0	11
30代	5	4	14	0	4	0	11	0	38
40代	2	0	7	1	1	0	5	1	17
50代	3	1	4	0	0	0	8	0	16
60代	5	0	4	1	0	1	3	0	14
70代以上	0	0	4	2	1	1	0	0	8
計	15	6	38	4	7	2	31	1	104

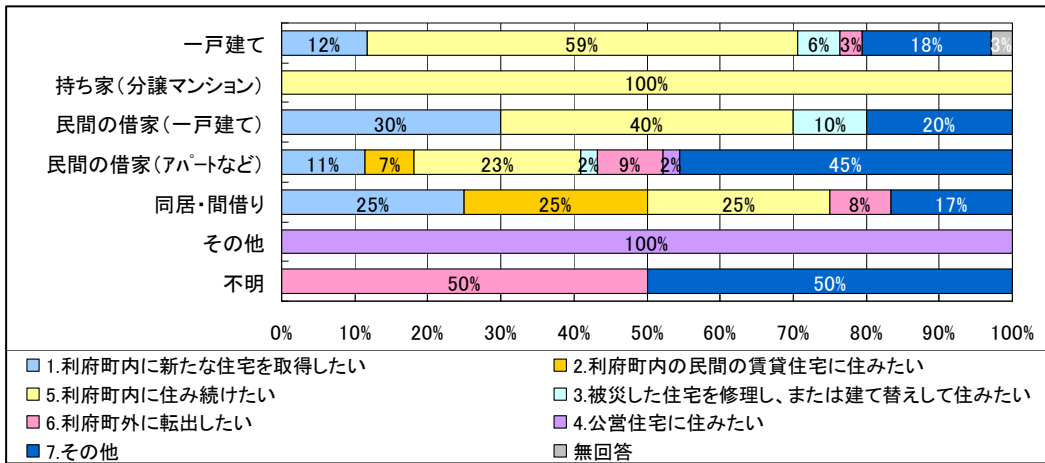
《家族人数別集計（家族人数と今後の居住意向の関係）》



(人数)

	利府町に住みたい			利府町外へ 転出したい		4.公営住宅に住みたい	7.その他	無回答	計
	1.利府町内に新たな住宅を取得したい	2.利府町内の民間の賃貸住宅に住みたい	5.利府町内に住み続けたい	3.被災した住宅を修理し、または建て替えて住みたい	6.利府町外に転出したい				
1人	0	1	1	0	2	1	4	0	9
2人	3	2	8	1	1	1	9	0	25
3人	5	2	10	1	1	0	8	0	27
4人	4	1	11	2	1	0	6	0	25
5人	2	0	5	0	1	0	3	1	12
6人	0	0	1	0	0	0	1	0	2
7人以上	1	0	2	0	1	0	0	0	4
計	15	6	38	4	7	2	31	1	104

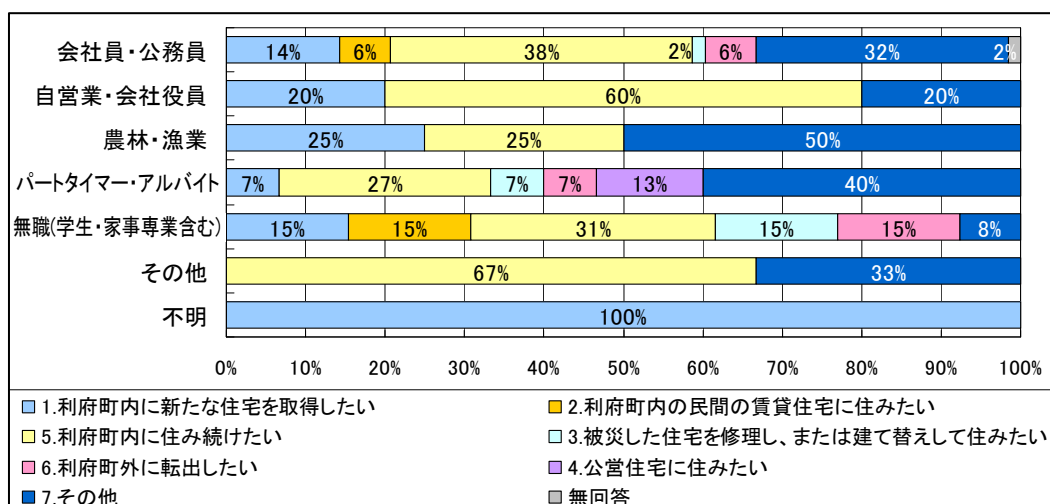
《現在の住居形態別集計（現在の住居と今後の居住意向の関係）》



(人数)

	利府町に住みたい			利府町外へ 転出したい		4.公営住宅に住みたい	7.その他	無回答	計
	1.利府町内に新たな住宅を取得したい	2.利府町内の民間の賃貸住宅に住みたい	5.利府町内に住み続けたい	3.被災した住宅を修理し、または建て替えて住みたい	6.利府町外に転出したい				
一戸建て	4	0	20	2	1	0	6	1	34
持ち家 (分譲マンション)	0	0	1	0	0	0	0	0	1
民間の借家 (一戸建て)	3	0	4	1	0	0	2	0	10
民間の借家 (アパートなど)	5	3	10	1	4	1	20	0	44
同居・間借り	3	3	3	0	1	0	2	0	12
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	1
不明	0	0	0	0	1	0	1	0	2
計	15	6	38	4	7	2	31	1	104

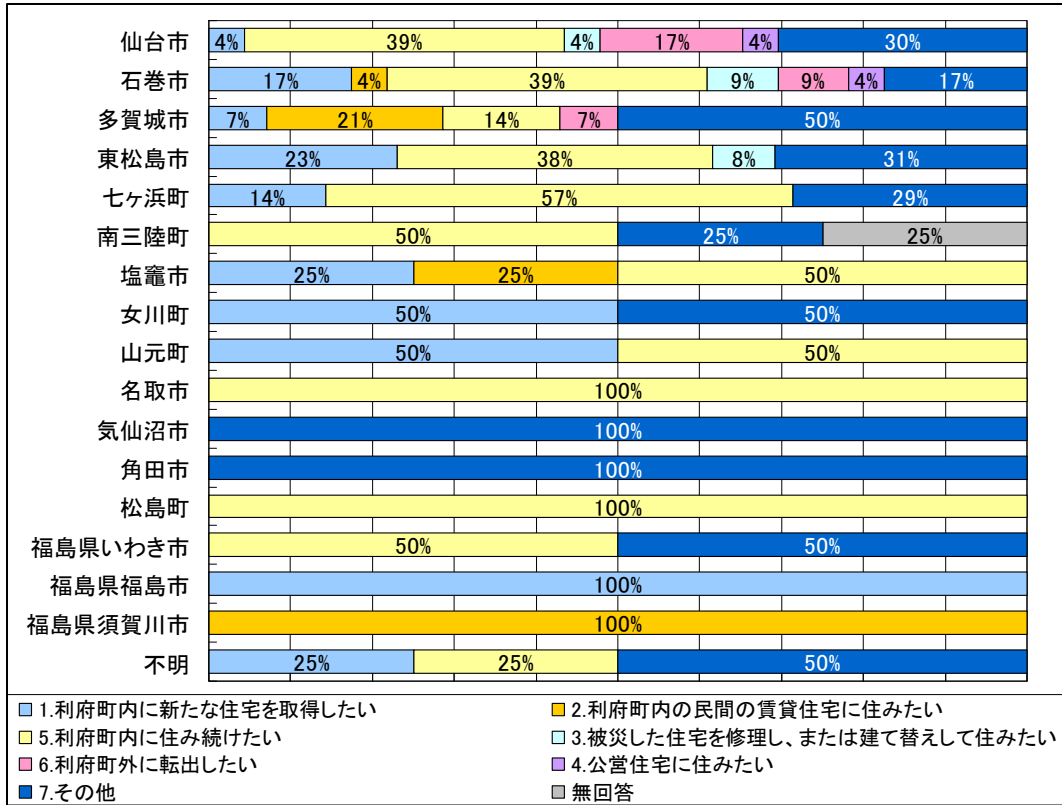
《被災前の職業別集計（被災前の職業と今後の居留意向の関係）》



(人数)

	利府町に住みたい			利府町外へ 転出したい		4.公営住宅に住みたい	7.その他	無回答	計
	1.利府町内に新たな住宅を取得したい	2.利府町内の民間の賃貸住宅に住みたい	5.利府町内に住み続けたい	3.被災した住宅を修理し、または建て替えて住みたい	6.利府町外に転出したい				
会社員・公務員	9	4	24	1	4	0	20	1	63
自営業・会社役員	1	0	3	0	0	0	1	0	5
農林・漁業	1	0	1	0	0	0	2	0	4
パートタイマー・アルバイト	1	0	4	1	1	2	6	0	15
無職(学生・家事専業含む)	2	2	4	2	2	0	1	0	13
その他	0	0	2	0	0	0	1	0	3
不明	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計	15	6	38	4	7	2	31	1	104

《被災前居住地の市町別集計（被災前居住地の市町別と今後の居留意向の関係）》



(人数)

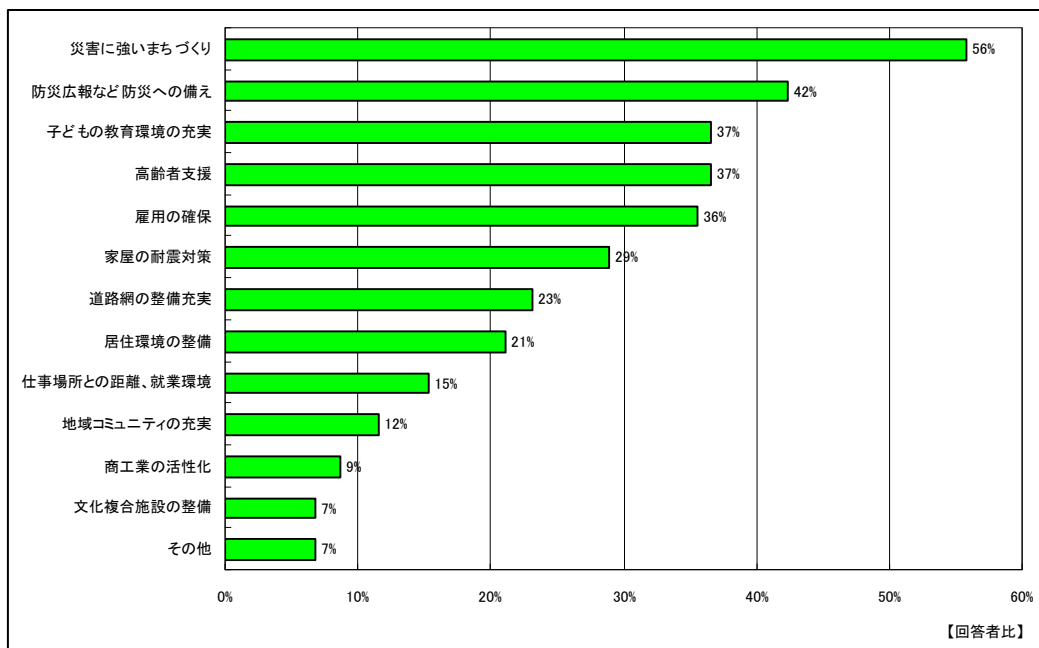
	利府町に住みたい			利府町外へ 転出したい		4.公営住宅に住みたい	7.その他	無回答	計
	1.利府町内に新たな住宅を取得したい	2.利府町内の民間の賃貸住宅に住みたい	5.利府町内に住み続けたい	3.被災した住宅を修理し、または建て替えて住みたい	6.利府町外に転出したい				
仙台市	1	0	9	1	4	1	7	0	23
石巻市	4	1	9	2	2	1	4	0	23
多賀城市	1	3	2	0	1	0	7	0	14
東松島市	3	0	5	1	0	0	4	0	13
七ヶ浜町	1	0	4	0	0	0	2	0	7
南三陸町	0	0	2	0	0	0	1	1	4
塩竈市	1	1	2	0	0	0	0	0	4
女川町	1	0	0	0	0	0	1	0	2
山元町	1	0	1	0	0	0	0	0	2
名取市	0	0	1	0	0	0	0	0	1
気仙沼市	0	0	0	0	0	0	1	0	1
角田市	0	0	0	0	0	0	1	0	1
松島町	0	0	1	0	0	0	0	0	1
福島県いわき市	0	0	1	0	0	0	1	0	2
福島県福島市	1	0	0	0	0	0	0	0	1
福島県須賀川市	0	1	0	0	0	0	0	0	1
不明	1	0	1	0	0	0	2	0	4
計	15	6	38	4	7	2	31	1	104

今後のまちづくりについて

【設問3】 今後のまちづくりについて（当てはまるもの全て〇）

- ・本町の今後のまちづくりにおける必要な取組みは、「災害に強いまちづくり」が56%と最も多く、次いで「防災広報など防災への備え」が42%、「子どもの教育環境の充実」と「高齢者支援」が37%、「雇用の確保」が36%となっている。
- ・年代別では、全世代で「災害に強いまちづくり」が多くなっており、併せて「30代」では「子どもの教育環境の充実」、「40代」では「防災広報など防災への備え」、「50代」「70代以上」では「高齢者支援」が最も多くなっている。
- ・今後の居住意向で「利府町に住みたい」意向の回答者においては、全体と同様で「災害に強いまちづくり」が最も多く、次いで「防災広報など防災への備え」「雇用の確保」が多くなっている。

《全体集計》

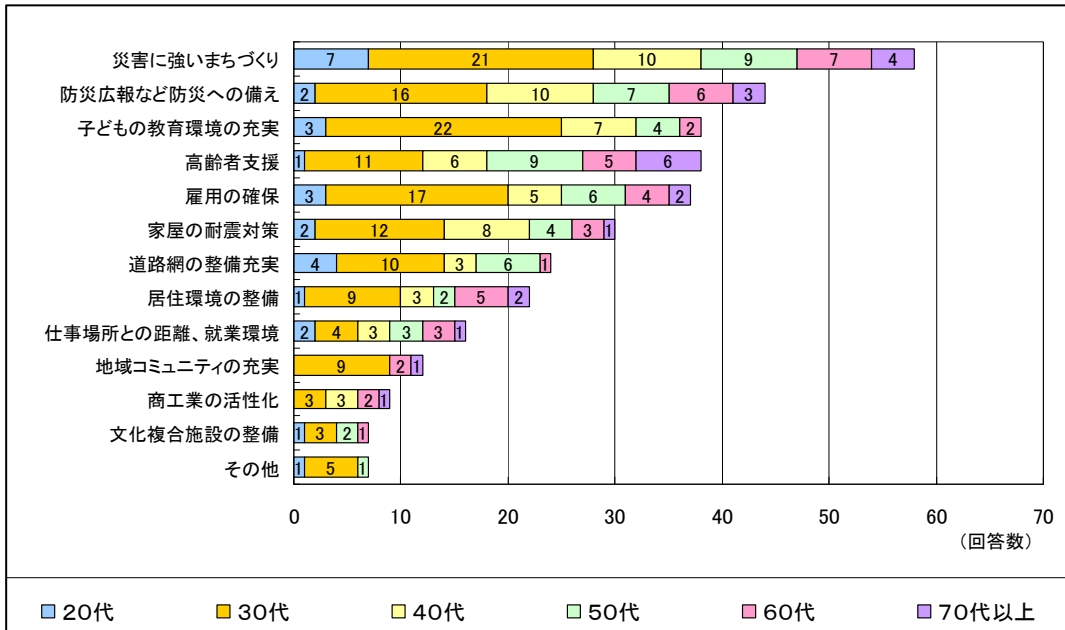


選択項目	回答数	回答者比 (104人)
災害に強いまちづくり	58	56%
防災広報など防災への備え	44	42%
子どもの教育環境の充実	38	37%
高齢者支援	38	37%
雇用の確保	37	36%
家屋の耐震対策	30	29%
道路網の整備充実	24	23%
居住環境の整備	22	21%
仕事場所との距離、就業環境	16	15%
地域コミュニティの充実	12	12%
商工業の活性化	9	9%
文化複合施設の整備	7	7%
その他	7	7%
計	342	-

▽「その他」の回答内容（回答：7件）

- ・悪臭（酪農）：1件 ・町営住宅の建設：1件 ・交通機関の充実：1件
- ・児童障害者支援：1件 ・小規模店舗が出店し易い環境づくり：1件
- ・年に何度か、避難訓練を町内住民が全員受けられるようにして欲しいです。：1件
- ・役所で働く人間の考え方、働き方の改革が何よりも必要だと思います。人間が変わらなければ、こんなアンケート、何の役にも立つわけがありません。：1件

《年代別集計（年代と今後のまちづくりの関係）》

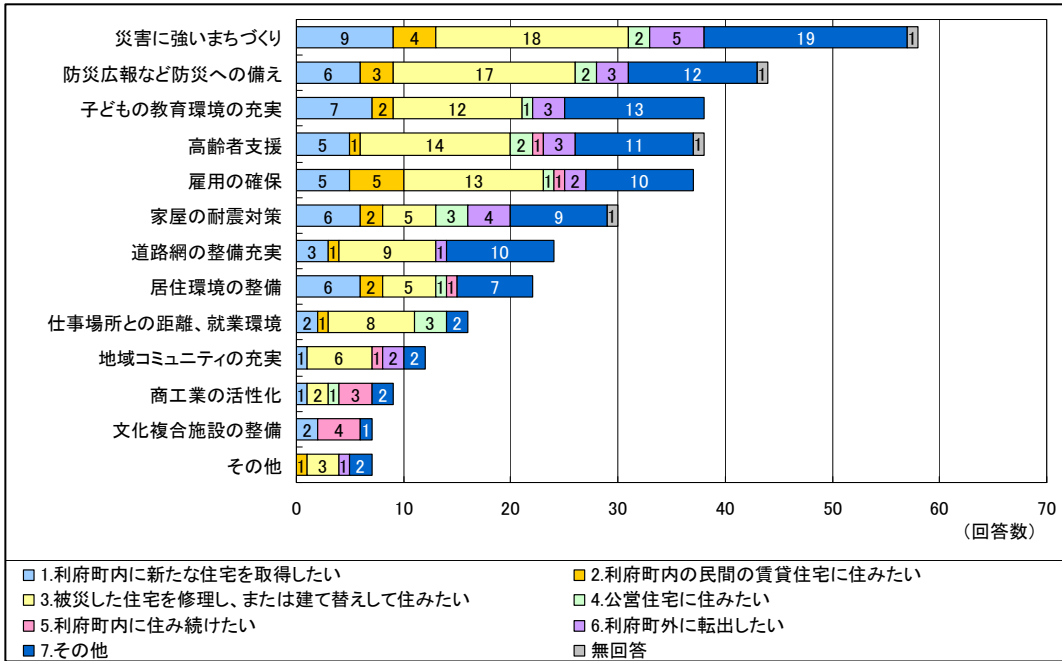


*上位3位を色付け

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
災害に強いまちづくり	7	21	10	9	7	4	58
防災広報など防災への備え	2	16	10	7	6	3	44
子どもの教育環境の充実	3	22	7	4	2	0	38
高齢者支援	1	11	6	9	5	6	38
雇用の確保	3	17	5	6	4	2	37
家屋の耐震対策	2	12	8	4	3	1	30
道路網の整備充実	4	10	3	6	1	0	24
居住環境の整備	1	9	3	2	5	2	22
仕事場所との距離、就業環境	2	4	3	3	3	1	16
地域コミュニティの充実	0	9	0	0	2	1	12
商工業の活性化	0	3	3	0	2	1	9
文化複合施設の整備	1	3	0	2	1	0	7
その他	1	5	0	1	0	0	7
計	27	142	58	53	41	21	342

(回答数)

《今後の居留意向別集計（今後の居留意向と今後のまちづくりの関係）》



* 上位3位を色付け

	1. 利府町内に新たな住宅を取得したい	2. 利府町内の民間の賃貸住宅に住みたい	3. 被災した住宅を修理し、または建て替えて住みたい	4. 公営住宅に住みたい	5. 利府町内に住み続けたい	6. 利府町外に転出したい	7. その他	無回答	計
災害に強いまちづくり	9	4	2	0	18	5	19	1	58
防災広報など防災への備え	6	3	2	0	17	3	12	1	44
子どもの教育環境の充実	7	2	1	0	12	3	13	0	38
高齢者支援	5	1	2	1	14	3	11	1	38
雇用の確保	5	5	1	1	13	2	10	0	37
家屋の耐震対策	6	2	3	0	5	4	9	1	30
道路網の整備充実	3	1	0	0	9	1	10	0	24
居住環境の整備	6	2	1	1	5	0	7	0	22
仕事場所との距離、就業環境	2	1	3	0	8	0	2	0	16
地域コミュニティの充実	1	0	0	1	6	2	2	0	12
商工業の活性化	1	0	2	1	3	0	2	0	9
文化複合施設の整備	2	0	0	0	4	0	1	0	7
その他	0	1	0	0	3	1	2	0	7
計	53	22	17	5	117	24	100	4	342

(回答数)

今後のまちづくりについての意見やアイデア（抜粋）

<自由意見の内容と意見数>

意見の内容	意見数
(1) 災害に強いまちづくりについて	5
(2) 道路について	4
(3) 公共交通について	6
(4) 公共公益施設について	1
(5) 商業について	3
(6) 生活環境について	3
(7) 雇用について	2
(8) 教育・子育てについて	4
(9) 医療について	2
(10) コミュニティについて	5
(11) 生活支援について	2
(12) 行政運営について	3
(13) その他	2
計	42

(1) 災害に強いまちづくりについて

- 住居の耐震対策も大事ですが、大型店舗の建物も、もっと耐震対策した方がいいと思う。
- まちづくりというより、しっかりとした防災時に対しての広報を徹底して欲しい。利府に住んで、色々な面で広報がさっぱり徹底していないのがっかりした。
- 防災無線の設置をお願いしたい。

(2) 道路について

- 利府の道路の渋滞緩和。
- 役場付近の道路整備が必要（ジャスコを含め混雑の解消）。
- 「仙台市のベットタウン」としてのまちづくりがメインになるのではと思いますが、その点からいくと道路網の整備充実が更に良くなればと思います。

(3) 公共交通について

- 利府町バスの本数を増加してください。車の無い人は足がありません。大変不便です。
- 公共交通の本数をもっと増やして欲しい。電車・バスでの移動が大変。車を持っていないため、大変不便さを感じる。
- 仙台への鉄道アクセスが、日中も岩切の乗り換え無しで直通になっていれば高齢者も楽だと思います。岩切駅はエレベーターも無く、階段の昇降は大変みたいです。

(4) 公共公益施設について

- もっと蔵書数の多い図書館をつくって欲しいです。

(5) 商業について

- イオン等大型 SC が進出している分、一局集中の感じを受けます。大型であれば、バイト等の雇用の確保などメリットはあると思いますが、中小の商店(例えば地域密着店)が少ないと感じます。大型 SC が中小の店をつぶすのはどこも同じで問題ですが、利府は、「道路網をものすごく充実させる」と車の流れが良くなり、数多くの小型店が進出できるかもしれません。

(6) 生活環境について

- 利府町は、緑が多く、閑静な環境に恵まれ、快適な生活を送らせて頂いております。しかし、残念なことが1つあります。それは悪臭です。近くに牛舎があるようで、時にきついにおいが流れて参りました。食事時などは閉口しております。まことに残念です。飼育されている方はもとより町の方(行政)もいろいろとご配慮はされているものとは存じますが、環境が良いだけに残念です。もう少し何とかならないものなのでしょうか。ご検討をお願い致します。
- 利府町は、自然環境も良く、生活に必要な施設等が近距離にほとんど揃っており、基本的には全く不便は感じません。今回の大震災においても部分的には被災した区域はあったものの、地盤は強く、多賀城・塩釜・松島などに比べるととても安心です。

(7) 雇用について

- 雇用を利府町内で増やし、生活基盤の安定を図ることで、人口増加が更に見込め、町全体が活性化する。

(8) 教育・子育てについて

- 子供が小さいので、子育て支援センターをよく利用します。夏は公園で遊ばせられないので、土日開放してもらえると助かります。また、十符っ子は14:00までと短いので、もっと遅くまで利用できると昼食をとってからゆっくり遊ば

せることができると思います。

○子育ての面では、他市町村より、助成は充実してありがたい。

(9) 医療について

○子供の夜間、緊急時も診察、対応できる病院の確保、総合病院で。(利府町内に病院があり、対応できることが理想)

(10) コミュニティについて

○あったら便利なものは、ステータス的なものは要りません。地域がしっかりした町、町民同士の風通しの良い町。寺、神社、地域 etc の祭りが多い町が望ましい。

○行政と住民とのコミュニケーションを良く取りあつて、双方にギャップ等が生じないような施策・方法・行動を期待致します。

○私は3月11日の震災の時から、利府の実家に引越して住んでいます。水道が断水し、役場へ、家族みんなで水を毎日もらいに行っていました。私達の家族は、車もあり、足腰が悪くもないので平気でしたが、近所に住む高齢者の夫婦は車があつても、ガソリンが無かったり、寝たきりの人がいるから、家を留守にできないと、水や食料も買いに行けず大変そうでした。近所同士、助け合いながら、なんとか過ごしましたが、今後のことも考え、高齢者の方への支援、住民同士のコミュニティを強化して欲しいです。

(11) 生活支援について

○住民が安全に安心して、生活できるように努めて欲しい。子供の教育と高齢者への支援が望まれる。

(12) 行政運営について

○震災後、仙台市の区役所では、届出に必要な書類をもらいに行くとは無料で大変助かったが、利府町へ転入した際、かなりお金を支払った。被災後のための転居で、仙台市の被災証明書も持参したのに利府では役に立たなかった。他の市町村と合わせて欲しい。

○仙台から移ってきて、利府町は役場の方も丁寧な行き届いた対応ですし、町全体で頑張っていることがいろいろなところに見え、とても良いところだと感じています。今後も益々生活、福祉、雇用が発展していくことを願っています。

(13) その他

○災害時の電力の確保の方法などを、今後考えていかなければならないと考えさせられました。電気があればガソリンが入ってこなくても充電式の車が使えますので、自家発電があると何かと役に立つのではないかと思います。